

心を動かす魔法の言葉

まつ 崎 友 花
ざき ゆ わ

常総市立石下中学校 二年

「挨拶はしっかりするべき。」

みなさんも一度は言われたことのある言葉ではないでしょうか。それどころか、「挨拶はよいことだ」と言われ過ぎて、挨拶の大切さを考えたことがない人も多いかと思えます。私も小さい頃からこう言われ続けてきましたが、あまり納得がいきませんでした。なぜなら、挨拶をすることは誰にとつてよいことになるのだろう、言う人が恥ずかしくなるだけだ、と思っていたからです。しかし、そんな私の考えを変え、挨拶の大切さについて思い直すきっかけとなった出来事が起きたのです。

私が学校に行くとき、毎朝「おはよう。行ってらっしゃい。」と笑顔で優しい挨拶をしてくださる近所の方がいました。私は、毎朝「おはようございます。行ってきます。」

と言って学校に行っていました。初めの頃は、ただ返事を返せばいいのだろうと思っていたので挨拶をされて少し返事に困ったり、緊張したりしていました。けれど、たくさん挨拶をしていくと「今日は暖かいね」「雨が降りそうな天気だね」「雪で滑らないように気を付けてね。」など少しずつ会話ができるようになりました。一言二言の本当に短いやり取りですが、私にとって大切な時間となりました。

いつも当たり前のように挨拶をしてくれる近所の方は、天気の良い日などは会うことができました。挨拶を交わす以前は、「今日はいないのか。」それくらいにしか思っていませんでした。しかし、時間が経っていくうちに、「今日はいつもの笑顔と挨拶がないな、今日は会えないのかな。」と悲しい気持ちになる日へと変わっていききました。

この経験が、私の毎朝ほんの一瞬で過ぎてしまう挨拶の時間を、たった一言で誰かと心を交わすことのできる素晴らしい時間へと変えたのです。

その日をきっかけに、私の「挨拶改革」が始まりました。いつも私がしてもらってばかりだった挨拶を、私から言うようにしたのです。それも、今まで私がしてもらったように笑顔を含めて。すると、相手もいつも以上にとびっきりの笑顔で挨拶を返してくれました。そのとき、私は初めて「挨拶はしっかりするべき」という言葉に納得がきました。

それからの私は、誰に対しても自分から笑顔で挨拶をするようになりました。すると、挨拶をする時の相手の声や笑顔がいつも少しずつ違うことに気付いたのです。今日は、何かよいことがあったのかな、悲しいことがあったのかなと考えるようになり、少し相手のことがわかった気がしました。

私は挨拶をされたとき、とても嬉しく感じます。自分から挨拶をし、相手から笑顔で挨拶を返されたときは、更に嬉しく感じます。挨拶の大切さを知ることができたこの体験は、まさに私の心を動かした瞬間でした。この感覚を少しでも多くの人に感じてもらいたい。そう思ったとき、私は自分から自然に挨拶をするようになりました。そして、

私自身が笑顔で挨拶をすることで、挨拶の素晴らしさを皆さんに伝えていきたいと強く思います。

「おはよう。」

この言葉は、たった一言だけどたくさんの意味が込められています。人の心を動かしたり、人を幸せにしたりすることが出来る魔法の言葉です。あなたが発した何気ない挨拶が、相手を勇気づける一言になることもあるかもしれません。そして、挨拶は人とコミュニケーションをとる第一歩です。相手に元気がないときには元気づける挨拶がしたい。言葉の中に相手への気遣いがある挨拶を心がけたい。だからこそ、私から多くの人に笑顔と挨拶を届けていきたいのです。

皆さんが少し勇気を出し挨拶をすることで、世界が大きく変わっていくと思います。あなたの挨拶で、世界を笑顔に変えてみませんか。

